

外国人教育支援者の語りから見えてくるもの—子ども、保護者、教師との関わり—  
Narratives of foreign educational supporters: Focusing on the relationship between foreign  
educational supporters, students, parents and teachers

富永優花（静岡文化芸術大学大学院）

Yuka TOMINAGA (Shizuoka University Art and Culture)

【キーワード】 外国人教育支援者、ブラジル人、ニューカマー、浜松市、学校教育

## 1. 調査の概要

1990年の改正出入国管理法の施行からすでに20年以上が経過した現在、日本で暮らすブラジル人は21万人にのぼり、滞在の長期化、定住化も進んでいる。ブラジル人の子どもの教育に関してこれまで学校現場で様々な取り組みがなされてきた。

外国人教育に関する研究はここ数十年の間に多く行われているが、その調査対象となっているのは子ども、保護者、教師がほとんどであった。学校現場で働く外国人支援者（日本の学校に通う児童生徒の言語、学習、適応などに関して支援活動を行っている外国にルーツを持つ者）についての研究はあまりなされていない。これまでの外国人教育は日本人教師、支援者が中心となっており、外国人支援者の役割は通訳などの補助的なものとされていた。しかし、外国人教育支援者が外国人の子どもの言語やアイデンティティに共通点があることに鑑みれば、多くの課題を抱える外国人の子どもの支援する上で彼らの役割は大きい。

本報告では子どもと同じ母国語、文化的背景を持つ外国人教育支援者の視点から外国人の子どもの教育のあり方を捉え直していく。特にブラジル人教育支援者に焦点を当て、彼らが支援に携わる意義をインタビュー調査から明らかにしていきたい。そして、外国人教育支援者が子ども、保護者、教師とどのような関わりを持っているのかを考察する。

## 2. 調査の対象と方法

本研究では浜松市の小中学校で外国人の子どもの支援を行っているブラジル人教育支援者13人を対象に2011年8月から11月にかけてインタビュー調査を行った。方法は半構造化インタビューで、一人につき60分～120分を費やした。使用言語は日本語。会話は本人の了解を得てすべてカセットテープに録音し、文字おこしを行った。インタビュー内容は主に彼らが支援に

携わることとなった経緯と学校現場での支援の様子についてである。その他には浜松市教育委員会、浜松市立小中学校、NPO団体を訪問し、外国人担当者、学校管理者にインタビューを行って支援者を取り巻く現状についてもデータを集めた。

### 3. 考察

外国人教育支援者はまず「学習の支援者」として子どもと関わっている。母語と日本語を駆使して、子どもの学習のつまずきに気づくことができる。そして、子どもの言語能力、学力を把握し、教師と連携して個々の子どもに合った指導を行うことができる。

次に、「母文化の共有者」として外国人教育支援者は子どもや保護者と関わりを持っている。外国人教育支援者の中には、自身が日本で学齢期を過ごし、日本の教育を受けてきた者がいる。そのような支援者の場合、子どもが今、経験している言語習得の困難や異文化に対する戸惑いを理解して、支援に当たっている。また、日本で子育てをした経験のある支援者の場合は保護者に対して自身の子育て経験を活かしたアドバイスが可能となる。母国で教育を受けてきたため日本の学校制度が分からない保護者にとって、同じ経験をしてきた外国人教育支援者は良き相談相手となっている。

そして、「学校文化の翻訳者」として外国人教育支援者は保護者と教師をつないでいる。保護者と教師は使える言語が異なるため、上手く情報伝達できず、トラブルがおきやすい。そこに外国人教育支援者が通訳として加わることで双方が安心して話し合うことができるようになる。学校行事、宿題、授業などで文化の違いから学校と家庭の狭間で板挟みになっている子どもの様子に気づき、彼らの相談に乗ることもできる。

このように、外国人教育支援者は二つの言語、文化を持ち合わせていることで、子どもをはじめ、保護者、教師をつなぐ役割を担っている。

#### 【参考文献】

- 安部洋子・横山紀子. 1991. 「海外日本語教師長期研修の課題—外国人日本語教師の利点を生かした教授法を求めて—」『日本語国際センター紀要』1: 53-74.
- 池上重弘編. 2001. 『ブラジル人と国際化する地域社会—居住・教育・医療』明石書店.
- 志水宏吉・清水睦美. 2001. 『ニューカマーと教育—学校文化とエスニシティの葛藤をめぐって』明石書店.
- 御館久里恵. 2010. 「地域日本語教室における外国人支援者の存在意義と、かれらの「語り」に関する研究」『平成20～21年度科学研究費補助金[若手研究(B)]研究成果報告書』.